

# SAKASO

「さかそう」



特集 専門職に聞いてみよう

## 救急看護認定看護師のこと。



2024.12 Vol.69

## お知らせ

### 「坂総合病院 市民公開講座」を開催します

毎回たくさんの地域の皆さんにご参加いただいている坂総合病院 市民公開講座。今回は東北大学医学部眼科学教室から講師をお迎えして開催します。

- 講演内容**
- ① 坂総合病院紹介「地域の安心を支える医療を目指して」  
坂総合病院 院長 富山 陽介
  - ② 健康体操「体ぽかぽかストレッチ体操」  
坂総合病院 健康運動指導士 行方 啓文
  - ③ 「知っておきたい！身近な目の病気～近視・加齢・糖尿病など～」  
東北大学医学部 眼科学教室 國方 彦志 特命教授

※演題は変更になる可能性があります。詳しくは当院ホームページや院内外のチラシをご覧ください

- 日時：2025年2月15日(土) 14:30～16:30 (開場14:00、閉場17:00)
- 場所：利府町交流文化センター リフノス  
(宮城郡利府町森郷字新椎の木前31-1)
- 問合せ・事前申込み：022-367-9027(坂総合病院 地域健康課)



### 診療予約・変更・お問合せ

まずはコールセンターへお電話いただきご確認をお願いいたします。

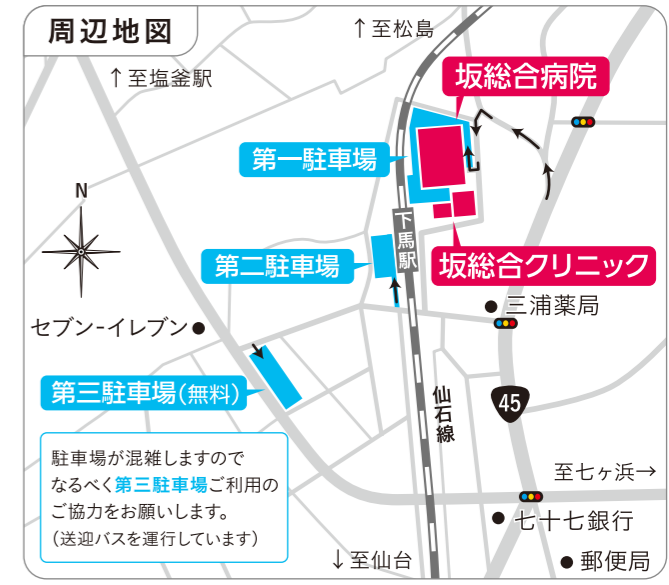
コールセンター **022-361-8288**

- 平日 8:30～16:30 (小児科のみ8:00～)
  - 土曜 8:30～11:30 (小児科のみ8:00～)
- ※日曜・祝祭日、年末年始(12/30～翌年1/3)、8/16(お盆)は休業。

◎紹介状をお持ちの方は、必ずその旨をお伝えください。  
◎上記時間以外で救急診療のお問合せは、病院代表番号(022-365-5175)にお電話をお願いします。

詳細はwebサイトでもご確認いただけます。

坂病院  検索 <https://www.m-kousei.com/saka/>



- 🚶 電車の場合 ▶ JR仙石線・下馬駅下車。駅前が当病院です。
- 🚗 お車の場合 ▶ 第三駐車場は、当院ご利用の方は**無料**です。第三駐車場と病院間の送迎バスを運行しています。

### 表紙について

「小さい頃、お正月によく来ていました」と市場の思い出を語る高橋さん。撮影後は病院スタッフのために、手に持っている中トロを購入していました。 ●表紙撮影/塩釜水産物 仲卸市場内 神戸屋商店

SAKASO 坂総合病院 広報誌【さかそう】  
2024年12月1日発行



〒985-8506 宮城県塩釜市錦町16-5 <https://www.m-kousei.com/saka/>  
【広報誌に関するお問合せ】Tel 022-365-5175(代)



毎回特集内容を変え、病気や病院のあれこれを発信。今回は「救急看護認定看護師」について紹介します。

特集

専門職に聞いてみよう

救急看護認定看護師のこと。



院内トリアージを利用し、患者さんの緊急度を判断。スクリーンには患者さんのデータが緊急レベル別に色分けされて表示されている

塩釜市を中心に地域の医療を支える坂総合病院。適切な治療と高度な技術で人々を支えています。今回は、救急医療現場で迅速なケアを行う「救急看護認定看護師」について聞きました。

高橋 千枝 (たかはしちえ)

宮城県出身。古川民主病院での勤務を経て、坂総合病院に入職。救急病棟の立ち上げにも携わり、2018年救急看護認定看護師の資格を取得。救急の現場を牽引するだけでなく、ロールモデルとしての役割を担い後輩の指導にも注力。地域公開講座での講師も務めている。

チーム医療で行う迅速で適切なケア

救命看護認定看護師とは、救急医療の現場で様々な病態に迅速かつ適切なケアを行う看護師のこと。日々救急の現場には病態、性別、年齢、背景などが異なる患者さんが来ますが、その中で私は「いかに合併症を生じさせることなく最小限に症状を抑えることができるか」が救急の目的だと考えています。そこに不可欠なのが、チーム医療です。私自身、医師と看護師だけでなく様々な職種と関わることで救急の現場が成り立っていると常に感じています。また救急外来で

の対応スキルを高めるために、スタッフの学びを深めることにも力を入れている毎日です。院内トリアージや心臓マッサージといった一時救命処置の講習を行ったり、中堅のスタッフたちに指導したりすることも私の役割です。

患者さんの安全を守るため「院内トリアージ」を活用

坂総合病院の救急外来では、2020年6月から院内トリアージの運用をスタートさせました。院内トリアージとは、患者さんの状態から緊急度・重症度を判定する仕組みで、緊急性の高い患者さんが待機中に急変するなどの支障を来さないようにするものです。大規模な事故や災害時に使用される災害トリアージとは異なり、バイタルサインと呼ばれる血圧や体温、呼吸、意識を観察し、症状も踏まえて患者さんの緊急度を判断しています。(※上図参照)

必要があるため、トリアージによる迅速な判断が必要になります。看護師は症状から緊急性の高い病気を想起し、次に行われる処置を考えながら動きます。異常が見られた場合は医師と協力し、すぐにカテーテル室へ移動できるようにチーム医療を展開していきます。

命の危機を救う現場で心まで寄り添うケアを

坂総合病院の救急外来では、患者さんのご家族も一緒に救命の現場に同席していただく場合もあります。治療や処置の過程を見てもらうことで、ご家族がその一連の流れを受容できるような状況をつくるためです。医師もしくは看護師が常にご家族に寄り添い、治療の経過を説明する。そのことが負担になることもあるかもしれません。ご家族に「最善の処置ができたのだ」と納得していただけるケアを大切にしています。患者さんの身体はもちろん、ご家族の心も蔑ろにしません。

院内トリアージの判断基準

日本緊急度判定支援システムJTAS (Japan Triage and Acuity Scale) を用いて、5段階に分類し評価しています。

レベル	緊急度	処置・治療が必要
レベル1	蘇生	直ちに診療・治療が必要
レベル2	緊急	10分以内に診察が必要
レベル3	準緊急	30分以内に診察が必要
レベル4	低緊急	1時間以内に診察が必要
レベル5	非緊急	2時間以内に診察が必要



後輩への指示を行う高橋さん。「それぞれの看護感を持ち、自分の目標へ向かうことができる。そんな姿勢を自分の背中から後輩たちに伝えたいです」

## #14 自宅で行う簡単ストレッチ②

「みやぎ東部健康福祉友の会」が毎月オンラインで開催している「自宅で簡単健康ストレッチ」。そこで紹介されている簡単な運動を連載で紹介いたします。今回は、肩の筋肉を伸ばすストレッチです。

### 肩と首をほぐす「肩の筋肉伸ばし運動」

- 1 右腕を伸ばし左肩の方へと近づけていく。
- 2 左腕は右腕の下から抱えるようにロックし、呼吸は止めずにそのままキープする。  
★ポイント 伸ばしている腕と逆方向に顔を向けるとさらに肩の筋肉が伸びる。
- 3 ゆっくりと腕を戻し、逆側も同様に行う。



#### 「運動療法センターのびのび」とは…?

坂総合クリニック1号館6階にあるメディカルフィットネス。健康増進・疾病予防運動、生活習慣病の運動療法、介護予防運動などを実践する施設です。

※現在は感染症対策のため、特定の病気の重症化予防を目的として個別にご利用いただいています

## 栄養手帖 ■■ -食養室だより-

## 寒さに負けない体をつくろう!

昼と夜の気温差が大きいこの時期は体調を崩しやすくなります。事前の予防を心がけ、風邪に負けない体を目指しましょう。

### 風邪対策のポイント

- 6～7時間の十分な睡眠
- 主食、主菜、副菜、牛乳・乳製品、果物を合わせたバランスのよい食事



- うがい、手洗い
- 適度な運動
- 人込みを避ける

### 寒い日におすすめ!

### しょうがはちみつ湯

しょうがは体を温めるだけでなく、疲労回復にも効果があります。

#### 材料(1人分)

- おろししょうが…小さじ1
- 湯…150ml
- はちみつ…小さじ1
- レモン汁…少々

#### 作り方

- 1 おろししょうがと蜂蜜をカップに入れ、湯を注いでよく混ぜる
  - 2 好みでレモン汁を少々加える
- ※しょうがの繊維が気になる場合はしょうが汁でも◎

# 支えるひとたち



## 第41回 検体検査室

坂総合病院を、そして患者さんを支える人々。その「人となり」に迫ります。

臨床検査技師を知ったのは、検査技師だった叔母の存在があったから。縁の下の力持ちとしての仕事が自分に合っていると思つた以上に、叔母が細菌検査について楽しそうに語る姿が検査技師を目指すきっかけになりました。

私が担当しているのは生化学検査と免疫検査です。毎朝精度管理を行なって患者さんの正確なデータを臨床に出すよう努め、検体の結果を速やかに伝えられるようモニターとらめつこしている毎日です。やはり、効率のよい運用をすることは大事ですからね。そして患者さんから預かった検体を貴重なものとして扱うことも、この仕事の大切な心がけとして考えています。

定年まであと少しですが、導入が必要とされる検査項目の検討など取り組みたいことがたくさんあります。まだまだがんばります!

### 次号は

藤丸 翔  
〈3階病棟介護福祉士〉



坂総合病院臨床検査室のこれからを担う若手の検査技師たちは、私にとって大切な存在です。この掲載を機に、一緒に写真撮ってみました。



高城 二恵 (たかぎ ふたえ)  
検体検査室 臨床検査技師

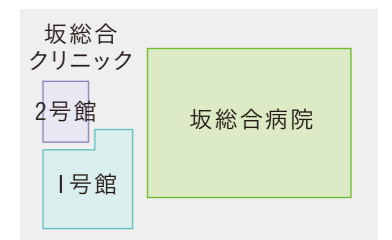
田村 養子 (たむら ようこ)  
師長

救急病棟は救急告示病院として24時間体制で患者さんを受け入れることを基本方針に、誰もが安心して受診できる医療の提供を目指しています。救急車で搬送された患者さんや除細動・胸腔ドレーン挿入など侵襲性の高い治療・検査を実施する患者さんに対応する救急室、採血などの検査、臨時受診、併設クリニックからの患者さんに対応する処



置室、そして16時以降の夜間に入院した患者さんを翌日まで看護する救急病棟の仕事に23名のスタッフが従事しています。対応する患者さんの中で一番多い症状は、高齢者の誤嚥性肺炎や尿路感染症などの内科疾患です。しかし循環器・消化器・呼吸器・外科・整形外科・小児科など多岐に渡る疾患の患者さんが入院することから、それぞれの疾患に応じた検査や治療が求められます。そのため私たちはあらゆる救急症例に即応できるように各種学会や研修へ参加し、日々研鑽を重ねて職場全体の看護水準向上を目指しています。

その上で患者さんが安心して受診できる質の高い医療・看護の提供にも努めていきたいです。様々な疾患の患者さんと関わる現場では学ぶべきことも多く大変ですが、熟練した先輩が後輩をリードしながら日々がんばっています。



- 病室(4~10F)
- 回復期リハビリテーションユニット
- 手術室、ICU、臨床検査室、血管造影室、病理部、薬局、高圧酸素室、CE室、カンファレンス室、公開型図書室、セミナールーム、応接室、地域医療教育ステーション
- 総合案内、受付、会計、診察室、処置室、救急処置室、救急病棟、リハビリテーション室、放射線室、読影室、生理検査室、内視鏡室、地域医療連携センター、事務室(診療サービス課・中央病歴室)、売店
- 食養生室、RI検査室、霊安室

- 2号館
- 4F 外来(小児科)、事務室、心理室
  - 3F 外来(循環器科、糖尿病、漢方、高脂血症)、食事相談室
  - 2F 外来(内科、呼吸器科、心臓血管外科)
  - 1F 受付・会計、処置室、検査室、放射線室

- 1号館
- 8F 図書室、会議室、資料室
  - 7F デイケア室、介護保険室
  - 6F 運動療法センター、クリニック所長室、クリニック看護部長室、クリニック事務長室
  - 5F 事務局長室、看護部長室、事務部長室、総務課、クリニック診療サービス課
  - 4F 医局、院長室、副院長室
  - 3F 患者さま図書室、友の会室、地域健康課、健康管理室(健診科)、患者教室、宮城県厚生協会本部事務局、総務
  - 2F 外来(耳鼻科、形成外科、産婦人科、血液科、眼科)、化学療法センター
  - 1F 外来(外科、泌尿器科、皮膚科、腎臓内科、脳神経外科、リハビリテーション科)、在宅医療室、処置室、受付・会計、相談室
  - B1F 中央検査室、物流センター、施設サービス課

他院と連携しながら、常に邁進を

連携医のご紹介  
大井皮フ科  
泌尿器科  
[ 皮膚科・泌尿器科 ]



院長  
大井 知教 先生  
(おおい ともり)



皮膚科・泌尿器科  
大井皮フ科泌尿器科

〒985-0874  
宮城県多賀城市八幡4-3-8  
大井クリニックビル2F  
TEL 022-364-1312

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00 - 12:00	○	○	○	○	○	○	△
14:30 - 18:00	○	○	△	○	○	△	△

休診日/水・土曜午後、日曜、祝日



当院は多賀城市の45号線沿いにある「皮膚科と泌尿器科」を標榜するクリニックです。1階には兄の耳鼻咽喉科クリニックがあり、その2階にあります。1997年の12月に開業し、今年で27年になりました。開業以前は東北大学病院皮膚科に籍を置いていましたが、坂総合病院の皮膚科外来では医局員交代でアルバイトとしてお世話になっていました。当時院長職を退かれた皆川国雄先生が突然訪れ、背中を粉瘤を切除してほしいとおっしゃったことで緊張しながら手術したことも思い出です。

最近では糖尿病、高脂血症、血圧などの新規薬剤が増え、これに伴う皮膚科、泌尿器科領域のトラブルや副作用も多くなつたように思います。それにつれて坂総合病院の内科の先生方と連絡を取り合う事が多くなり、そのことが私の専門性を活かしたマイナー科ならではの診療上のニッチな楽しみとなっております。同時に改めて他科の薬剤、治療について勉強する必要があります。今後坂総合病院の先生方にはお世話になることと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

坂総合病院から  
大井先生には以前から大変お世話になっております。先日は当院が開催した「連携医の会」にもご参席いただきました。地域で頼りにされている医療機関であり、当院と併診する患者さんも多いです。地域の皆さんに限らず、当院からも厚い信頼を寄せています。今後ともよろしくお願い申し上げます。